

お客様各位

株式会社 セゾンテクノロジー  
HULFT テクニカルサポートセンター

## HULFT10 における UTF-8 から EBCDIC セットへの 文字コード変換での障害について

平素より、テクニカルサポートサービスをご利用いただき、誠にありがとうございます。  
HULFT10 Ver.10.2.0 において、バックスラッシュ(\)を意味する文字コードを、UTF-8 から特定の EBCDIC の文字コードセットに変換する際に、誤った変換が行われる障害を確認いたしました。

発生した障害について下記の通りご報告いたします。

お客様にはご迷惑をおかけいたしますが、対応版のリリースまで、インストールをお待ちいただけますようお願いいたします。

－記－

### ■ 発生事象

UTF-8 のバックスラッシュ「0x5C(\)」を、z/OS および IBM i で使用される EBCDIC の文字コードセット（※）にコード変換する際、「\」になるべき箇所が「¥」に変換されます。

※対象 EBCDIC コードセット

- ・ IBM 英小文字
- ・ IBM 英小文字拡張
- ・ IBM カナ文字拡張

### ■ 影響を受ける製品及びバージョン

- ・ HULFT10 for Windows Ver.10.2.0
- ・ HULFT10 for Linux/AIX Ver.10.2.0
- ・ HULFT10 for IBM i Ver.10.2.0

## ■ 影響範囲

以下の前提条件を満たし、かつ機種別条件に該当する場合、本障害の影響を受けます。

### ● 前提条件（以下の2つの条件両方を満たす）

- ① UTF-8 から対象 EBCDIC コードセットへの変換を行う
- ② 変換するデータ内にバックスラッシュ「0x5C(\)」が含まれている

### ● 機種別条件

配信側/集信側の HULFT の OS 種/バージョン、コード変換条件の組み合わせにより本障害の影響を受けます。

| 配信側 HULFT                           | 集信側 HULFT                       | コード変換条件                                      |
|-------------------------------------|---------------------------------|----------------------------------------------|
| HULFT10 for<br>Windows/Linux/AIX    | HULFT for IBM i/zOS<br>(全バージョン) | 配信側変換<br>[コード変換]が「配信側 (S)」※                  |
| 全バージョン・全機種<br>の HULFT<br>※UTF-8 を使用 | HULFT10 for IBM i               | 集信側変換<br>[コード変換]が「集信側 (R)」※                  |
|                                     |                                 | 該当文字を含むテキストデータを<br>集信側の UTLBREAK コマンドで<br>分解 |

※[配信管理情報]-[コード変換]の設定

## ■ 回避策

HULFT10 での回避策はございません。

HULFT8 では当該の障害は発生しないため、旧バージョン製品が使用可能であれば、そちらを継続してお使いください。

## ■ 今後の対応

本障害を修正した HULFT10 for Windows、Linux/AIX、IBM i Ver.10.2.0A を 2025 年 5 月 19 日にリリース予定です。

修正版の Ver.10.2.0A をダウンロードしてご利用いただけますようお願いいたします。

## ■ 本件に関するお問合せ先

技術サポートサービス契約先にお問い合わせください。

以上

## 【改訂履歴】

|                  |      |
|------------------|------|
| 2025 年 05 月 02 日 | 初版作成 |
|------------------|------|